

却つて反感を抱く者もあつたと云ふ事である。

是より曩き三崎事務に會見を求め現在従業員ならざるの故を以て拒絶された談笑俱樂部代表依岡外四名は二十四日午後三時再度三崎事務に會見を甲込んだ。一方従業員は二十四日も引續き缺勤者多く、これが補充として監督などが運轉に従事してゐたが一部硬派は二十五日の天神祭當日を期して同盟罷業を斷行す可く教圍いてゐるが俱樂部としては之に同意を與へてゐなかつた。

爭議發生當初より依然として勞資脱合の姿を續けて來たが豫てより従業員間には二十五日の天神祭を期して同盟罷業を斷行し會社側に對して一大示威を爲さんとの説をなす者多く俱樂部の幹部が之を制止すれば却つて幹部の弱腰を難詰する様で二十五日は假令全員の罷業は行れずとも多くの缺勤者を出し運轉に支障を來す可きは想像するに難くはなかつた。そこで阪神沿線各警察ではこの罷業を氣遣つて二十四日夜關係各署高等係が西ノ宮署に集合し萬一の場合の手筈を協議したのであつたが従業員の觀測する所では二十五日は従業員千名中半数以上の缺勤者を見るだらうとの事で尙二十五日の罷業が若しモノにならねば八月中旬野球大會頃には是非之を斷行すると教圍いてゐた。

尙俱樂部では右につき午前の部出勤者は午後三時より午後の部出勤者は午後十時より沿線青木の川島方に協議會を開き夜間の如きは電燈を消して秘密裡に會談し二十五日は現業員同盟罷業を行ふ以外に電氣課

に俱樂部員の居るのを幸ひに送電をも中〇せしめやうとの説もあつたが市民の反感を買ふ虞があつたのでこれだけは思ひ止る事になつた。

一方之を耳にした會社側では二十四日午後より幹部總居残りで二十五日罷業の場合の對策に付き協議する處があつた結果二十五日は午前五時より監督百三十人の非常召集を行ひ車掌運轉手に代つて運轉せしむる事となり又萬一を慮つて二十四日夜來線路工夫を召集し線路の警戒に任せしむるなど上を下への大騒ぎであつた。因に會社では百三十八の監督が居る以上運轉に支障を來さないと云つてゐたが二十四日午後十時までに尼崎庫車に到達した従業員の二十五日當日の缺勤届が一尺五寸に達する山をなしたのを見ては樂觀は許されなかつたのである。

日給參拾錢の値上を要求し會社〇容る、所とならざるに業を煮やして従業員七百名は天神祭を機として愈二十五日早朝より遂に同盟罷業を斷行した。是より曩に従業員の重立ちたる者は二十五日夜青木の談笑俱樂部に會合し何事か密議を凝してゐたが二十五日朝となるや果然各車庫共に出勤殆ど皆無で事務所の机上には七百名の缺勤届が山積し午前十時までの出勤者は尼崎庫車二十九名東明庫車二十二名野田北大阪線庫車三名合計五十四名に過ぎなかつた。之では到底完全な運轉をする事は不可能なので會社側は應急策として監督から見習までも召集して各部所を分擔せしめ辛くも運轉を繼續したが早朝は六分間に一臺の